

東日本大震災における官庁施設の被災状況等(概要)①

東日本大震災において、津波によって浸水した庁舎では被害が大きかった。



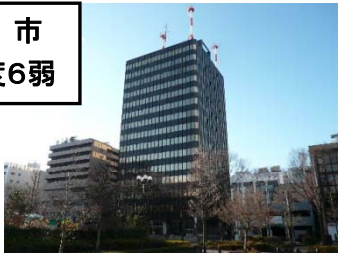
国土地理院2万5千分1 浸水範囲概況図を基に作成

東日本大震災における官庁施設の被災状況等(概要)②



東日本大震災における官庁施設の被災状況等（概要）③

C市
震度6弱



C合同庁舎 S-17-2
天井材の落下、事務室内書架転倒
ガラスの破損、EVシャト耐火材の落下

- 3/11 全館避難指示、入館規制
- 3/12 国交省営繕職員による点検
- 3/14 全官署通常業務



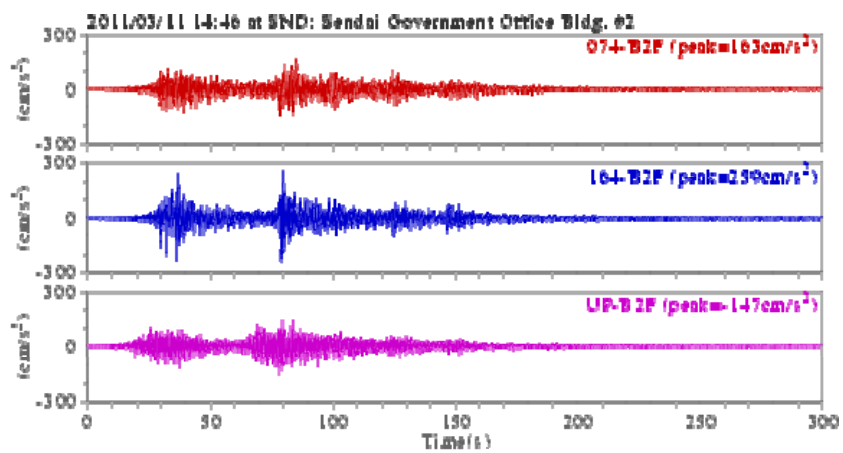
▲天井材の落下



▲書架転倒

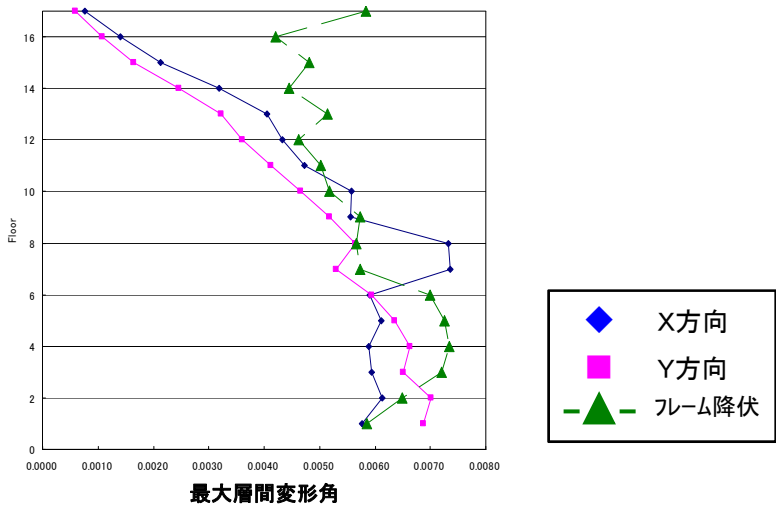
強震観測記録を用いた構造体の損傷確認(C合同庁舎)

□強震観測記録



地下2階の加速度記録

□地震応答解析結果



超高層建築物の目視点検には限界があるため、強震観測記録を用いた地震応答解析により、構造体の損傷を確認することで、施設の安全性を速やかに把握することができると考えられる。

制振部材の点検(D合同庁舎)



▲制振壁の点検口



▲制振壁の目視点検

制振構造の建築物は、地震応答解析に加え、ダンパー部材の目視点検により、施設の安全性を速やかに把握することができると考えられる。